

# 令和7年度 学校経営計画

豊橋市立老津小学校

## 1 学校教育目標

校訓「素直な子」「進んで学ぶ子」「やりぬく子」

- ・希望をもって挑戦し続け、自ら学ぶ子
- ・全教職員で全校児童を大切に育て、「生きぬく力」を育む。

## 2 学校経営方針（中期目標）

- (1) 互いを認め合い、温かな人間関係と豊かな心を育む。【素直な子】
- (2) わかる楽しさ・できる喜びを感じ、自ら学び続ける姿勢を育む。【進んで学ぶ子】
- (3) 生涯を通じてたくましく生きるための、心と体を鍛える。【やりぬく子】
- (4) 信頼される教職員集団をめざし、家庭・地域と連携した教育を推進する。

## 3 重点努力目標（短期目標）

### 【スローガン】「老津大好き みんな大好き」

家族・先生・友だち・地域の方とのつながりを感じながら楽しく幸せな日々を過ごす中で、学校そして地域のことが大好きと思えるよう、全教職員で一丸となって学校づくりを推し進める。

- (1) 互いを認め合い、温かな人間関係と豊かな心を育む。

評価項目	重点努力目標	評価指標
一人一人を大切にした学級・学校づくり	・学級経営、学校行事等に心を耕す方策を取り入れるとともに、温かなつながりを基盤にした安心できる集団づくりに取り組む。	・学級経営案の記述内容 ・学校評価アンケート
互いを認め合う心の育成	・自己有用感を高め、互いを認め合う心を育む学活や道徳教育の充実を図る。 ・子ども一人一人の特性を見取り、多様性を大切にした支援を実践する。 ・異年齢集団活動の充実を図る。	・学校評価アンケート ・授業の振り返りの記述 ・生活アンケート（年10回）の結果 ・生サポ委員会の内容 ・縦割り清掃や遊び・集会の様子

- (2) わかる楽しさ・できる喜びを感じ、自ら学び続ける姿勢を育む。

評価項目	重点努力目標	評価指標
「わかる楽しさ」「できる喜び」を生む授業	・子どもが夢中で学びたくなる問題解決的な単元構想を工夫する。 ・ひとり学び（ひとり調べ）と話し合い（対話）を効果的に位置づける。 ・体験・本物を重視した学びと人とのつながりを重視した学びを図る。 ・学びのつながりを意識した実践を進める。	・学校評価アンケート ・現研（授業研究）の取り組み ・授業の振り返り ・総合的な学習の時間・生活科の実践 ・小中一貫教育の取り組み内容、保小の連携
学びに向かう力の育成	・「本時の目標」を明確にして、支援を工夫する。 ・「振り返り」を大切にして、自己の変容を自覚し、次の課題をもてるようとする。 ・自主的な家庭学習の姿勢と習慣を支援する。	・学校評価アンケート ・振り返りの記述内容 ・働きかけの工夫（通信・掲示等） ・家庭学習の支援と「希望の花ちゃん学習」の取り組み

- (3) 生涯を通じて、たくましく生きるための心と体を鍛える。

評価項目	重点努力目標	評価指標
生活習慣の確立	・「早寝・早起き・朝ごはん」を基本に、よりよい生活習慣の定着を図る。 ・メディアコントロールを働きかける。	・定期的な生活調査の結果 ・年3回の学校保健委員会の取り組み
体力の向上	・運動場の遊具を活用した、体つくり運動系の充実を図る。 ・計画的に重点目標（マラソンチャレンジ、なわとび月間など）を設け、体力向上への意欲を高める。	・運動場等での活動の様子 ・各種運動期間（週間）の設定と工夫 ・各種カードの工夫と取り組み
安全教育の推進	・学活や避難訓練による安全指導を通して、安全意識と対応力の向上を図る。	・学校評価アンケート ・安全指導の計画的な実践

- (4) 信頼される教職員集団をめざし、家庭・地域と連携した教育を推進する。

評価項目	重点努力目標	評価指標
教職員としての誇りと自覚	・全員授業研を実施し、自由闊達な意見交換を通して、授業力の向上を図る。 ・風通しのよい職員室づくりに努め、報告・連絡・相談・確認の徹底を図る。 ・セルフマネジメントの意識をもって、業務改善を推進する。	・学校評価アンケート ・現職研修・OJTの取り組みと成果 ・管理職との面談における内容 ・ストレスチェックの結果 ・在校時間調査
家庭・地域との連携	・学年・学校通信やホームページ等を通して、積極的に学校の教育方針や教育活動を発信する。 ・学校連絡アプリを活用して、教育支援を積極的に募る。 ・コミュニティ・スクールを活かして、地域とともに学校運営に取り組む体制を整える。 ・家庭や地域と協働して、郷土学習を推進する。	・定期的な通信の発行とホームページのアップ ・地域教育ボランティアの活用実績 ・学校評価アンケート ・コミュニティスクールの活動状況 ・学校運営協議会委員の評価 ・総合的な学習の時間・生活科の実践

